

USER'S MANUAL

産業用 10/100BASE-TX (SC) ⇔ 100BASE-FX
メディアコンバータ

MCV-100FXIS

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

この度は、MCV-100FXISをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■本書について

本製品は、冗長 DC 電源入力を搭載し、お使いの産業イーサネット環境で信頼性があり経済的なソリューションを提供するコンバータ (10/100Base-TX to 100Base-FX) です。本製品はアラーム機能を備え、故障の際には外部アラームによりアラーム（可視・可聴）が鳴ります。本製品の動作環境は0℃から70℃と広範囲に及び、通常の範囲以上の振動や衝撃にも耐えられるようデザインされ、厳しい産業環境にも適しています。

本書では本製品の設定方法をご紹介します。

■マニュアル内の表記について

- 本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。
- 本書における記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。
- 「警告」や「注意」に書かれている内容には特に注意いただき、すべての内容をお読みにになり、ご理解ください。

■記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



■設置及び保管に関して

- ・ 動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■取り扱いに関して

- ・ 高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・ 湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・ 落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■その他

- ・ 本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- ・ ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り得てください。万一不測の事態が発生し不意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■コンプライアンスおよび安全上の警告

Federal Communications Commission (FCC：米国連邦通信委員会) ステートメント

本製品が、FCC 規則の第 15 部に従い、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることは、テストおよび検証済みです。これらの制限は、住宅における導入事例において、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供する目的で規定されています。本製品は電磁波を発生、使用、外部に放射するため、製造元の指示どおりに設置して使用しない場合は、無線通信を妨害する可能性があります。ただし、特定の導入事例で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品がラジオまたはテレビの視聴に有害な電波干渉を引き起こし、本製品の電源をオン/オフすることで電波干渉の有無を確認できる場合、以下の単一または複数の対策によりユーザ側で電波干渉を補正することをおすすめします。

- ・ 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- ・ 本製品と受信機器の間隔を空ける。
- ・ 受信機器を接続しているコンセントとは別系統のコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売業者またはラジオ/テレビの専門技術者に問い合わせる。

警告：FCC の規定に準拠するため、グラフィックカードとモニタの接続にはシールドケーブルを使用する必要があります。コンプライアンス当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を本製品に対して行った場合、本製品の使用する権限は取り消される可能性があります。

CE

本製品はクラス B 製品です。国内の環境において、本製品は至当な処置の必要となる無線妨害をするおそれがあります。

■安全性

警告：光ファイバポートの安全性



光ファイバポートを使用する場合、電源投入中は送信用レーザを見つめないでください。また、ファイバ TX ポートおよびファイバケーブルの末端部分も、電源投入中は直視しないでください。

電源ケーブルの安全性

本製品を設置する前に、以下の安全性に関する情報を熟読してください。

警告：ユニットの設置および移動は、有資格者が行う必要があります。

- ・ 世界の安全基準に従うために、ユニットはアース線に接続する必要があります。
- ・ ユニットは、アース線に接続していない状態では電源に接続しないでください。

■警告および注意

警告：ユニットの設置および移動は、有資格者が行う必要があります。

警告：本製品は、レーザを使用して、光ファイバケーブル経由で信号を送信します。レーザはクラス 1 レーザ製品の要件に準拠しており、通常の操作では、本質的に目に安全です。ただし、電源投入中は、送信ポートを直視しないでください。

注意：この装置を扱う場合は、静電気放電を防止するために、静電気防止リストストラップを着用するか、その他の適切な対策を講じてください。

注意：RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

目次

使用前に必ずお読みください	i
特徴	1
同梱物の確認	1
各部の名称	2
本製品前面	2
本製品上面	3
本製品背面	3
本製品の DIN レール取り付け	4
冗長電源の投入	4
DC 電源投入	5
DC 電源接続の手順	5
イーサネット接続	6
ファイバー接続	6
LED 表示	7
本製品の LED ステータス	7
外部アラーム接点	7
DIP スイッチの設定	8
オートネゴシエーション (NWay)	8
リンク障害通知機能 (LFS)	9
付録 - ケーブル	10
ツイストペアケーブルとピンの割り当て	10
10BASE-T/100BASE-TX のピンの割り当て	10
ストレート配線	11
クロスオーバー配線	11
製品仕様	12
ユーザー登録について	13
弊社へのお問い合わせ	14

特徴

- "Auto"MDI / MDI-X
- リンク障害通知機能 (LFS)
- ストア アンド フォワーディング
- オートネゴシエーション
- 全二重通信 / 半二重通信モード選択
- DIP スイッチセット時にはオートリブートにて設定が反映
- 距離延長 2km(マルチモードファイバー) から 120km(シングルモードファイバー) までサポート
- 10Base-T & 100Base-TX /FX 互換
- デバイス状態を LED で表示
- 産業環境においても適応
- 広範囲の電圧幅 : 9-48V
- CE、FCC Class B、VCCI Class B 承認

同梱物の確認

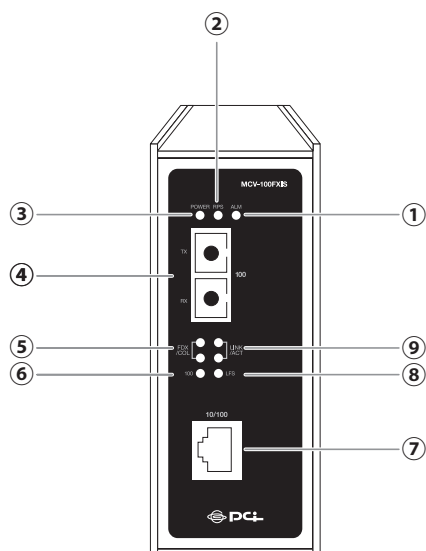
パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- MCV-100FXIS 本体
- DIN レール取り付け用金具キット (本体取付済)
- 未使用ポート用保護キャップ
- ゴム足
- CD-ROM (ユーザーズ・マニュアル)
- 保証書

パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

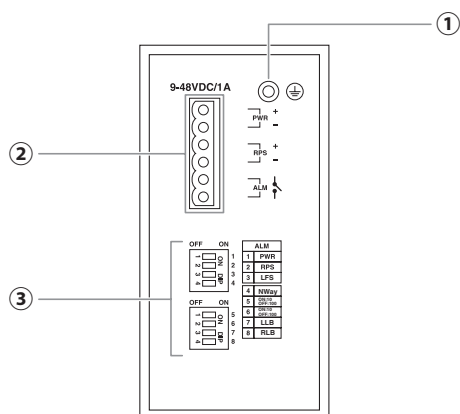
各部の名称

本製品前面



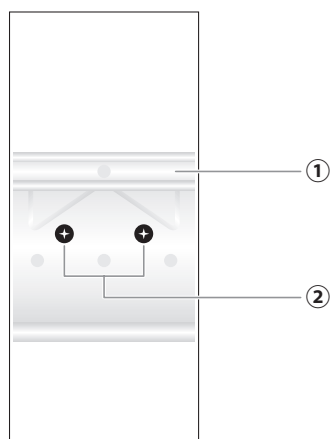
番号	名称
①	アラーム LED
②	冗長電源 LED
③	主電源 LED
④	100Base-FX ポート
⑤	ファイバー & RJ-45 ポート FDX/COL LED × 2 (各ポート 1LED)
⑥	RJ-45 100Mbps LED
⑦	RJ-45 ポート
⑧	LFS LED
⑨	ファイバー & RJ-45 ポート LNK/ACT LED × 2 (各ポート 1LED)

本製品上面



番号	名称
①	接地用取り付けネジ
②	入力用ターミナル・ブロック (PWR / RPS) およびアラームドライ接点
③	DIP スイッチ

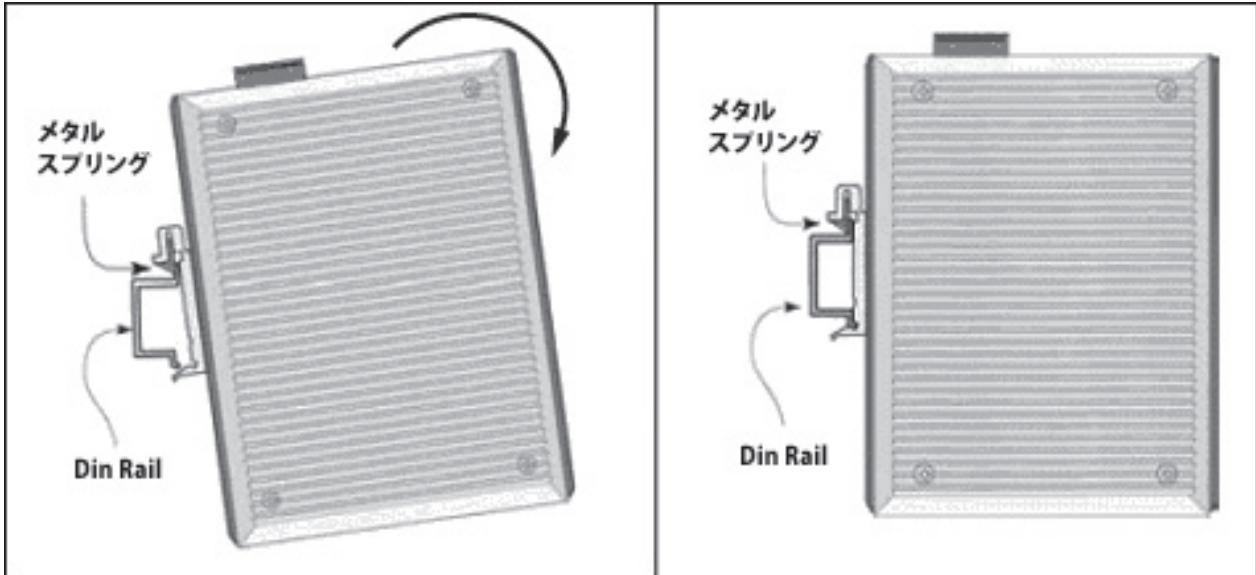
本製品背面



番号	名称
①	DIN レール取り付け用金具
②	ねじ

本製品の DIN レール取り付け

アルミニウム DIN レール取り付けプレートは必ず本製品の背面に取り付けてください。DIN レールプレートの取り付けが必要なときは、硬い金属バネが最上部にあることを確認してください。本製品の DIN レールへの取り付けは簡単です。金属バネをレールのトップに合わせて引っ掛けてください。このとき、金属バネ（薄く曲がったロッド）がレールの端の前部に入っていて、レールの端がバネの背後のスペースに刺さっているかどうか確認してください。その後、本製品を以下の図のように下に押し、押ししてボトムレールにはめ込んでください。



本製品のセットアップは以下の事項をチェックしてから行ってください。

- ・ 引っ掛けるものは、本製品の重さがあるので最低 1.0kg 耐えうるものにしてください。
- ・ 本製品を電源供給点から 1.82 メートル以内のところに設置してください。
- ・ DC 電源ケーブルが十分に差し込まれているか確認してください。
- ・ 本製品から適度な放熱が行われているか、本製品周辺で適切な換気が行われているか確認してください。本製品の上に物を置かないでください。

冗長電源の投入

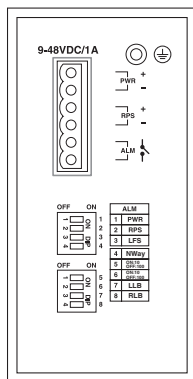
主電源と冗長電源の投入は両方も電流が通じている直流電源に同時に接続することが可能です。もしどちらかの電源が不通になると、もう一方の電源がバックアップとして機能し、自動的に本製品に必要な電気を供給します。

DC 電源投入

DC 電源は以下のようにして接続します。

注意：電気は外部 DC 電源を通して供給されます。

スイッチには電源スイッチは含まれていないので、DC 電源を接続すると、すぐに電源がオンになります。



プラスチックの緑の電源コネクタブロック（左側のダイアログの一番上を参照）は6つの接続ピンから構成され、手で簡単に取り付け、取り外して6つのピンのターミナルブロックレセプターに接続できます（オス接点は本製品の本体にあります）。最上部の2つの接点（PWR）はDC主電源投入用、真ん中の2つの接点（RPS）はDC冗長電源投入用です。最下部の2つの接点（ALM）は外部アラームとの接続用になっています。

パワーブロックの右上には接地用接続ネジがあり、電源コネクタブロックの下にはDIPスイッチコントロールパネルがあります。

DC 電源接続の手順

電源コネクタブロックは、6ピンの電源コンタクトから分離することができます。出荷時では、この電源コネクタブロックは本体に取り付けられた状態になっています。

- 電源コネクタブロックでは、マイナスドライバーを使って主電源ピン（PWR+/- と表示されえた箇所）のネジを緩めます。その後、プラスとマイナスのDC電源ワイヤーを入れます。ぴったりとDC電源ワイヤーを取り付けた後、マイナスドライバーでネジをしっかり締めてください。
- DC冗長電源の接続は、上記と同じ手順を行ってください。DC電源ワイヤーを電源コネクタブロックの「RPS+/-」と表示された箇所に取り付けます。
- 電源コネクタブロックが6ピンの電源コンタクトから分離されていない場合は、電源コネクタブロックを電源コンタクトに差し込んでください。
- DC電源を本製品に取り付ける前に、DC電源供給が安定していることを確認してください。

イーサネット接続

本製品には 1 つの 10/100Base-TX イーサネットポートがあり、1 つの 100 Base-FX SC タイプコネクタファイバーポートがあります。ポートは本製品のフロントパネル上にあり、イーサネット対応の機器に接続するのに使われます。

ファイバー接続

本製品にファイバーケーブルを接続する際は、お使いになるコネクタが SC タイプかを必ず確認し、下記の方法に従って、適切にファイバーケーブルを接続してください。

1. SC ポートのゴムカバーを取り外します。ファイバーケーブルを接続しないときは、目を痛めるおそれがありますので、必ずゴムカバーを元のポートに付けてください。
2. ファイバーターミネータに汚れが付着していないことを確認します。ケーブルプラグの汚れを取るには、清潔なティッシュペーパー、または綿ボールに少量のエタノールを含ませて丁寧に拭き取ります。ファイバーケーブルのファイバーターミネータが汚れていると、ケーブルで送信する光の質が悪化し、ポートのパフォーマンスが低下します。
3. ケーブルの一端を本製品の SC ポートに接続し、もう一端を他の機器の SC ポートに接続します。
4. 接続が行われたら、ポートに対応するリンク LED をチェックして、接続が有効であることを確認します。(LED 図を参照してください。)

注意：ケーブルが挿入されていない状態では、目に見えないレーザー光線がポートの隙間から放出されている場合があるので、露光を避け、開口を見つめないでください。

LED 表示

本製品の LED ステータス

本製品には以下のような LED ステータス表示があります。

パワー・インジケータ (PWR)

この LED ランプは、本製品が主電源から電源を供給されているときに、緑色に点灯します。

冗長電源供給 (RPS)

このインジケータは、本製品が冗長電源から電源を供給されているときに、緑色に点灯します。

アラーム (ALM)

アラームランプは、本製品のいずれかのポートでリンク切断が起こったときや、本製品が主電源から電源を供給されていないときに赤色に点灯し、アラームがなります。(外部アラーム接続時)

FDX / COL LED

FDX / COL のステータスが 2 つの LED で黄色に表示されます。(各ポートにつき 1 つの LED)
ユニットが全二重モードの時に点灯し、コリジョンが生じた時に点滅します。

LNK / ACT LED

LNK / ACT のステータスが 2 つの LED で緑色に表示されます。(各ポートにつき 1 つの LED)
コンプライアントデバイスからリンクパルスを受信した時に点灯し、データパケットの送信/受信を行っている時に点滅します。

100

リンクスピードが 100Mbps のとき、上部の LED が緑色に点灯します。それ以外のときは LED はオフになります。

LFS

RS-45 またはファイバーリンクの断線または中断があった時に赤色に点灯します。

外部アラーム接点

本製品のトップパネル上にある緑の電源コネクタブロック上に、アラーム接点接続ポイントがあります。アラーム接点との接続は、「PWR+」とアラーム接点の一端をワイヤーで接続し、「PWR-」とアラーム接点のもう片方の一端をワイヤーで接続します。

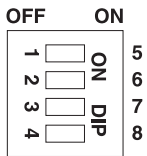
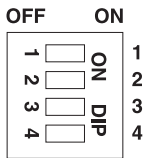
アラーム回路は、工場や産業界で、制御室や工場内にすでに設置されているものであれば、どんな警報装置にも接続できます。異常が起きると、本製品からアラーム接点を通して警報が送られ、この外部アラームが作動します。アラーム接点には、アラームシステムに接続するための異常回路を形成する 2 つのターミナルがあります。

アラームは以下の状況で警報が鳴ります。

1. リンク切断 (例：ケーブル断線、機器の故障等)
2. PWR/RPS：停電
 - a. 電源コードが接続されていない、電源供給の異常等
 - b. 電気の投入が仕様書の指定幅を超えている (9 ~ 48V)

DIP スイッチの設定

DIP スイッチによって手動で外部アラーム、NWay、通信モードの操作ができます。以下の図で DIP スイッチの操作を説明します。



LED	状態
DIP 1 (PWR)	主電源のアラーム外部出力を制御します。デフォルトはオフです。
DIP 2 (RPS)	冗長電源のアラーム外部出力を制御します。デフォルトはオフです。
DIP3 (LFS)	リンク障害通知 機能 (LFS) の外部アラームを制御します。デフォルトはオフです。
DIP4 (NWay)	NWay 機能の外部アラームを制御します。デフォルトはオンです。
DIP5 (データビット伝送速度)	ON : 10Mbps OFF : 100Mbps デフォルトはオフ (100Mbps) です。 ※ RJ-45 ポートのみ
DIP6 (通信モード)	ON : 半二重通信 OFF : 全二重通信 デフォルトはオフ (全二重通信) です。 ※ RJ-45 ポートのみ
DIP7 (LLB)	デフォルトはオフです。LLB は未サポートです。常にオフにしてください。
DIP8 (RLB)	デフォルトはオフです。RLB は未サポートです。常にオフにしてください。

オートネゴシエーション (NWay)

本製品の 10/100Mbps RJ-45 ポートは、接続された機器とオートネゴシエーション機能により、自動で通信モードを設定します。オートネゴシエーション機能により、10Mbps または 100Mbps、加えて全二重/半二重モードのいずれかに設定され、最適な通信設定を自動で設定することができます。

リンク障害通知機能（LFS）

LFS 機能はファイバーポート（100BASE-FX）あるいは RJ-45 ポートのいずれか一方のポートのリンクがダウンしたときに、もう一方のリンクを強制的に切断します。LFS 機能の有効／無効の切替は、DIP スイッチ「LFS」のオン／オフによって行います。

また、LFS 機能を有効にしたときは、LFS によるリンク断を検知したときに外部アラーム機能によりアラームを通知することができます。

付録ーケーブル

ツイストペアケーブルとピンの割り当て

10BASE-T 接続および 100BASE-TX 接続の場合、ツイストペアケーブルにはワイヤが 2 ペア必要です。1000BASE-T 接続の場合、ツイストペアケーブルにはワイヤが 4 ペア必要です。ワイヤのペアはそれぞれ、2 つの異なる色で識別されます。たとえば、一方のワイヤは緑、もう一方のワイヤは緑に白のストライプなどです。また、RJ-45 コネクタをケーブルの両端に取り付ける必要があります。

- 注意：**
- ・ワイヤの各ペアは、特定の向きで RJ-45 コネクタに取り付ける必要があります。
 - ・RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品を損傷します。FCC 標準に準拠する、RJ-45 コネクタ付きのツイストペアケーブルのみを使用してください。

以下の図は、RJ-45 コネクタのピンの番号を示しています。ワイヤをピンに接続する際は、コネクタを必ず同じ向きに保ってください。

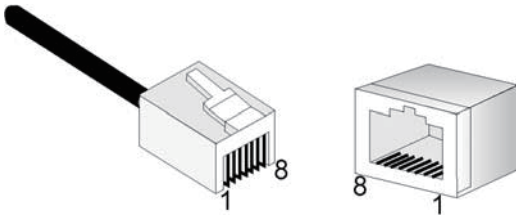


図 B-1 RJ-45 コネクタのピン番号

10BASE-T/100BASE-TX のピンの割り当て

RJ-45 接続には、シールドなしツイストペア (UTP) ケーブルまたはシールドツイストペア (STP) ケーブル (10Mbps 接続には 100 オームのカテゴリ 3 以上のケーブル、100Mbps 接続には 100 オームのカテゴリ 5 以上のケーブル) を使用します。また、ツイストペア接続の長さは、100m 以下にしてください。

本製品のベースユニットの RJ-45 ポートは AutoMDI/MDI-X に対応しているため、PC やサーバ、他のスイッチやハブへのすべてのネットワーク接続にストレートケーブルを使用できます。ストレートケーブルでは、ケーブルの一端のピン 1、2、3、6 は、もう一端のピン 1、2、3、6 にストレートに接続されています。本製品の RJ-45 ポートを使用するときは、ストレートケーブルとクロスオーバーケーブルの両方を使用できます。

ピン	MDI 信号名	MDI-X 信号名
1	データプラス送信 (TD+)	データプラス受信 (RD+)
2	データマイナス送信 (TD-)	データマイナス受信 (RD-)
3	データプラス受信 (RD+)	データプラス送信 (TD+)
6	データマイナス受信 (RD-)	データマイナス送信 (TD-)
4、5、7、8	未使用	未使用

表 B-1 10/100BASE-TX の MDI ポートおよび MDI-X ポートのピンアウト

- 注意：**「+」記号および「-」記号は、各ワイヤペアを構成するワイヤの極性を表しています。

ストレート配線

ツイストペアケーブルで2つのポートを結合するとき、一方のポートのみに内部クロスオーバ（MDI-X）がある場合は、ストレートのワイヤを2ペア使用する必要があります（本製品のRJ-45ポートでオートネゴシエーションが有効になっているときは、ストレートケーブルとクロスオーバケーブルのどちらでも任意の機器タイプに接続できます）。

将来ギガビットイーサネットにアップグレードしやすくするために、4つのワイヤペアをすべて以下の図のように接続することをおすすめします。



図 B-2 ストレート配線

クロスオーバ配線

ツイストペアケーブルで2つのポートを結合するとき、両方のポートに「X」のラベルが付いている（MDI-X）か、どちらのポートにも「X」のラベルが付いていない（MDI）場合は、配線でクロスオーバを実装する必要があります（本製品のRJ-45ポートでオートネゴシエーションが有効になっているときは、ストレートケーブルとクロスオーバケーブルのどちらでも任意の機器タイプに接続できます）。

将来ギガビットイーサネットにアップグレードしやすくするために、4つのワイヤペアをすべて以下の図のように接続することをおすすめします。

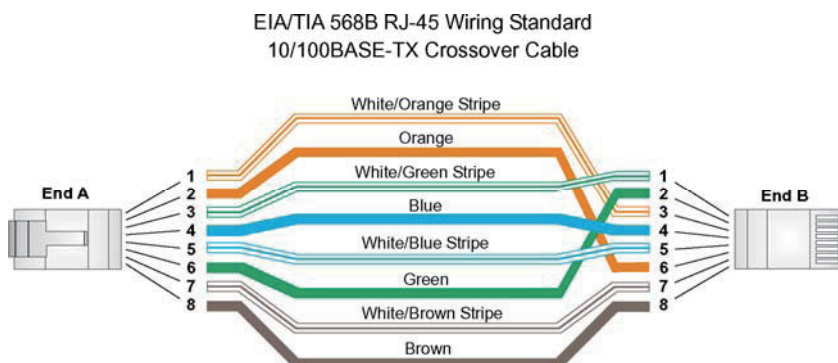


図 B-3 クロスオーバ配線

製品仕様

製品名	
MCV-100FXIS	
機能	
対応規格	IEEE802.3 : 10BASE-T IEEE802.3u : 100BASE-TX/FX
ポート構成	RJ-45 コネクタ×1 : 10BASE-T、100BASE-TX (オートネゴシエーション、AutoMDI/MDI-X 対応) SC コネクタ×1 : 100BASE-FX
ネットワークケーブル (UTP 側)	UTP/STP LAN ケーブル 10Mbps : カテゴリ 3 以上、100Mbps : カテゴリ 5 以上、最大 100m
ネットワークケーブル (ファイバ側)	マルチモードファイバー (コア径/クラッド径 50 or 62.5 μ m/125 μ m) 最大 2km シングルモードファイバー (コア径/クラッド径 9.2 μ m/125 μ m) 最大 120km
スイッチング方式	ストア&フォワード
スループット (64Bytes)	10BASE-T : 各ポート 14,881 パケット/秒 100BASE-TX : 各ポート 148,810 パケット/秒
その他の機能	ミッシングリンク機能、アラーム機能、冗長電源対応
ハードウェア仕様	
LED	POWER、RPS、ALM、FDX/COL、LINK/ACT、100、LFS
DIP スイッチ	ALM 用 (PWR,RPS,LFS)、設定用 (NWay,10/100,HALF/FULL,LLB,RLB)
冷却ファン	ファンレス
MTBF	110,817 時間
電源	DC 9 ~ 48V
消費電力	最大 4.32W
外形寸法	50 (W) × 120 (H) × 100 (D) mm
重量	465g
動作時環境	温度 : 0 ~ 70°C 湿度 : 10 ~ 95% (結露なきこと)
保存時環境	温度 : -20 ~ 80°C 湿度 : 5 ~ 95% (結露なきこと)
取得承認規格	CE、FCC Class B、VCCI Class B
その他	
保証期間	1 年間

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
最新情報は、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp>) を参照ください。

ユーザー登録について

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、製品をお買い上げいただいたお客様にユーザ登録をお願いしております。

ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行っていただきますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社ホームページ上で受け付けております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤスイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

< PLANEX DIRECT >

<http://direct.planex.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

<ご質問 / お見積もりフォーム>

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

<お問い合わせフォーム>

<http://www.planex.co.jp/support/techform>

<電話>

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く

< FAX >

ファクス番号：03-5766-1615

受付：24時間

◇お問い合わせ前のごお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・ 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows Vista/XP など)
- ・ ご利用のネットワーク環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトし必要事項をご記入の上、
下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当行
FAX : 03-5766-1615

送信日: _____

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name	産業用10/100BASE-TX(SC)⇔100BASE-FX メディアコンバータ
型番 Product No.	MCV-100FXIS
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② OS

OS	SP
----	----

